

事業概要【住民が住み続けられる安全・安心なまちづくりプロジェクト～愛媛県愛南町～】

申請者	愛媛県、愛南町					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,170,770千円 (140,885千円)	
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	✓	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	・南海トラフ地震による被害が予想される愛南町において、住民の防災危機意識を向上させ、町が発信する防災情報を常時受信できる体制を構築することにより、地震・津波による被災者を最小限に抑える。 ・地震・津波対策として、河川堤防や海岸護岸などのインフラ整備を行う。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 南海トラフ地震に対して、住民の防災危機意識向上のための防災フォーラムの実施や防災アプリの整備などを進める。また、防災減災対策としての河川海岸の地震・津波対策事業も実施する。 【ソフト事業経費】 防災フォーラム開催事業やアプリ整備事業を実施する。 ・防災フォーラム開催事業 385千円 ・自主防災組織活性化支援事業 500千円 【インフラ整備事業経費】 地震・高潮対策としての河川、海岸の高潮対策事業 ・工事請負費 140,000千円					 僧都川 長崎海岸 防災フォーラム  		
地域の多様な 主体の参画	地元住民の防災力向上のため、地元小中学校や県立南宇和高校に防災フォーラムの開催・参加についての周知を依頼するなど、町内の全世代が一体となった防災力の強化を目指す。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①住民基本台帳人口移動報告による転出超過数の減少 (－30人) ②河川堤防の耐震化率 (+31%) ③海岸堤防の整備率 (+37%) ④防災意識が向上した人数 (+400人) ⑤自主防災組織の活動割合 (+30%) ⑥防災アプリ登録者数 (+1,800人)	